

子宮頸がん検診に関する 検討の経緯等について

平成24年9月3日
厚生労働省健康局
がん対策・健康増進課

子宮頸がん検診のあゆみ

昭和42年	子宮がん検診車の整備費と運営費の補助
昭和58年2月	老人保健法に基づく子宮頸がん検診の開始
平成10年4月	老人保健法に基づかない事業と整理 がん検診等に係る経費の一般財源化
平成15年12月	厚生労働省に「がん検診に関する検討会」を設置
平成16年3月	がん検診に関する検討会中間報告 「乳がん検診及び子宮がん検診の見直しについて」
平成20年4月	健康増進法上（第19条の2）の健康増進事業として がん検診を位置づけ

市区町村による子宮頸がん検診の項目等

厚生労働省においては、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」を定め、市区町村による科学的根拠に基づくがん検診を推進。

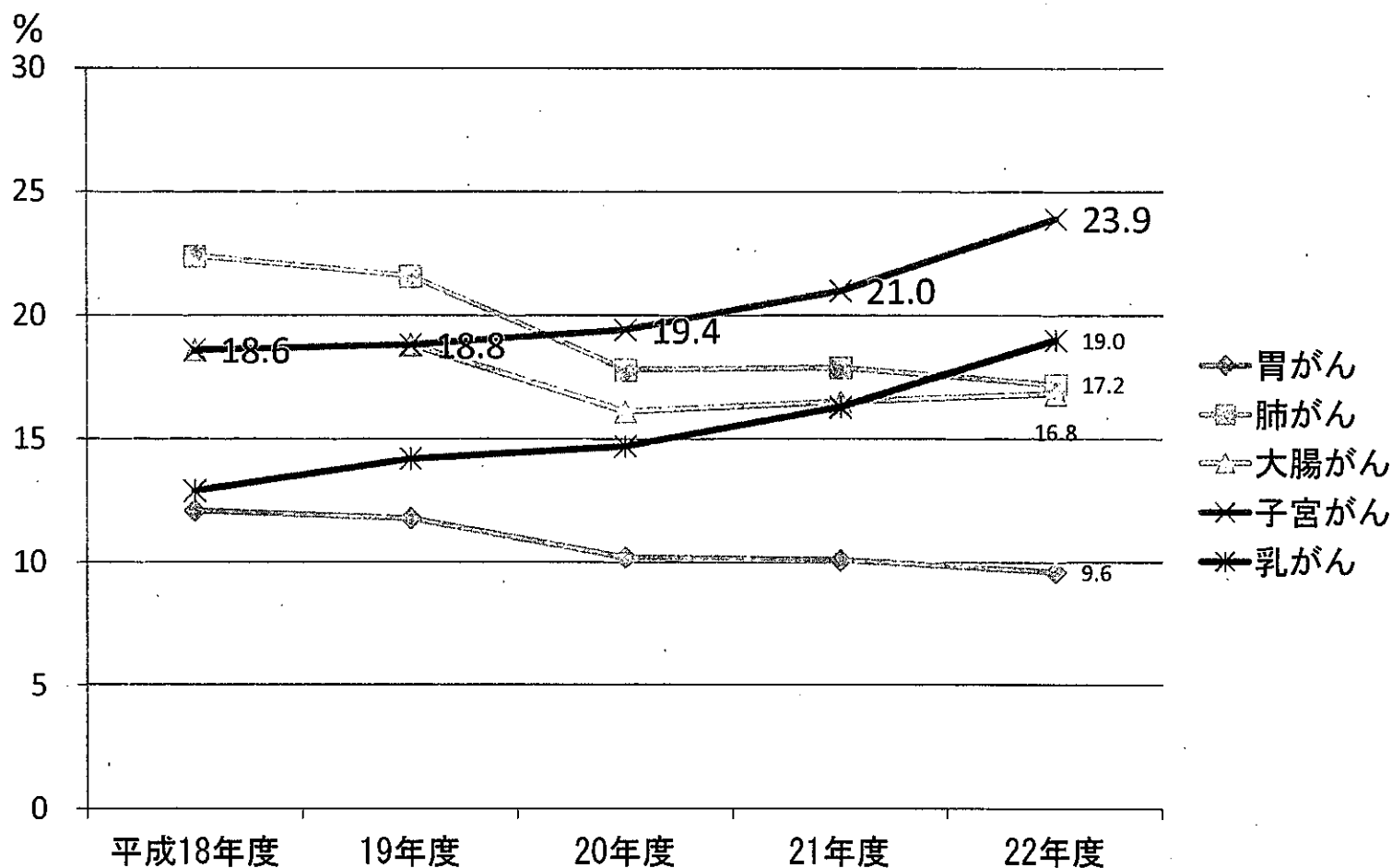
	対象年齢	検診間隔	検診項目
平成10年～	30歳以上	年1回	問診、視診、子宮頸部細胞診、内診
平成16年～	20歳以上	2年に1回	問診、視診、子宮頸部細胞診、内診

市区町村による 子宮頸がん検診の受診者数等(平成21年度)

	受診者	要精密検査	要精検率	がんであつた者	陽性反応的中度	がん発見率	未受診	未把握率	未把握	未受診率
総数	4275409	60864	1.42%	3238	5.32%	0.08%	9395	15.4%	12360	20.3%
20～24歳	139602	4006	2.87%	34	0.85%	0.02%	791	19.7%	1008	25.2%
25～29歳	296857	7221	2.43%	195	2.70%	0.07%	1161	16.1%	1725	23.9%
30～34歳	492983	10772	2.19%	514	4.77%	0.10%	1636	15.2%	2215	20.6%
35～39歳	557870	10400	1.86%	666	6.40%	0.12%	1478	14.2%	2181	21.0%
40～44歳	565702	9884	1.75%	660	6.68%	0.12%	1489	15.1%	2097	21.2%
45～49歳	332255	5110	1.54%	272	5.32%	0.08%	716	14.0%	952	18.6%
50～54歳	320645	3648	1.14%	166	4.55%	0.05%	544	14.9%	624	17.1%
55～59歳	353948	2653	0.75%	186	7.01%	0.05%	392	14.8%	445	16.8%
60～64歳	456666	2771	0.61%	208	7.51%	0.05%	430	15.5%	413	14.9%
65～69歳	358371	2055	0.57%	156	7.59%	0.04%	312	15.2%	311	15.1%
70～74歳	248485	1388	0.56%	96	6.92%	0.04%	264	19.0%	228	16.4%
75～79歳	112216	630	0.56%	49	7.78%	0.04%	104	16.5%	100	15.9%
80歳以上	39809	321	0.81%	36	11.21%	0.09%	78	24.3%	57	17.8%

出典:平成22年地域保健・健康増進事業報告より作成

がん検診受診率の推移 (地域保健・健康増進事業報告)



- ・平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市、野田村）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、新地町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。
- ・受診率は、計数不詳の市区町村を除く。

指針で示しているがん種のがん検診における 指針以外の検査項目の実施状況

	指針で示している がん種のがん検診における、 指針以外の検査項目(複数回答)	市区町村数 (回答数1783市区町村)
胃がん検診	胃内視鏡検査	234 (13.1%)
	ペプシノゲン法	53 (3.0%)
	ヘリコバクター・ピロリ抗体	18 (1.0%)
肺がん検診	CT検査	150 (8.7%)
大腸がん検診	大腸内視鏡検査	32 (1.8%)
	S状結腸鏡検査	30 (1.7%)
	注腸X線検査	5 (0.3%)
乳がん検診	エコー検査	536 (30.1%)
子宮がん検診	HPV検査	26 (1.5%)

※対象者全てに実施している市区町村及び対象者の一部(希望者のみ等)に実施している市区町村の合計数 (重複回答)

出典：市区町村におけるがん検診の実施状況等調査結果について(平成22年1月1日現在 健康局総務課がん対策推進室調べ)

子宮頸がん検診に関する最近の研究結果
(主として子宮頸がん死亡率・浸潤がん罹患率をエンドポイントとしている研究)

論文名 (文書名)	公表年	場所	研究方法	検診方法	評価指標
Sankaranarayanan R, Nene BM, Shastri SS, Jayant K, Muwonge R, Budukh AM, Hingmire S, Malvi SG, Thorat R, Kothari A, Chinoy R, Kelkar R, Kane S, Desai S, Keskar VR, Rajeshwarkar R, Panse N, Dinshaw KA.N HPV screening for cervical cancer in rural India. Engl J Med. 2009 Apr 2;360(14):1385-94.	2009	インド	無作為化比較試験	HPV or CC or VIA Vs 検診なし	浸潤がん罹患率・死亡率
Ronco G, Giorgi-Rossi P, Carozzi F, Confortini M, Dalla Palma P, Del Mistro A, et al. New Technologies for Cervical Cancer screening (NTCC) Working Group. Efficacy of human papillomavirus testing for the detection of invasive cervical cancers and cervical intraepithelial neoplasia: a randomised controlled trial. Lancet Oncol. 2010; 11:249-57.	2011	イタリア (NTCC)	無作為化比較試験	Round 1: HPV+LBC vs CC Round 2: CC vs HPV	浸潤がん罹患率
Schiffman M, Glass AG, Wentzensen N, Rush BB, Castle PE, Scott DR, et al. A long-term prospective study of type-specific human papillomavirus infection and risk of cervical neoplasia among 20,000 women in the Portland Kaiser Cohort Study. Cancer Epidemiol Biomarkers Prev. 2011;20:1398-409.	2011	米国	コホート研究	HPV+CC VS HPV or CC	CIN3以上の累積罹患率
Rikaart DC, Berkhos J, Rozendaal L, van Kemenade FJ, Bulkman NW, Heideman DA, et al. Human papillomavirus testing for the detection of high-grade cervical intraepithelial neoplasia and cancer. final results of the POBASCAM randomised controlled trial. Lancet Oncol. 2012;13:78-88.	2012	オランダ (POBASCAM)	無作為化比較試験	Round 1: HPV+CC Vs CC Round 2: HPV+CC Vs HPV+CC	浸潤がん罹患率

注) HPV : HPV検査、CC : 細胞診 (従来法)、LBC : 細胞診 (液状検体法)

子宮頸がん検診に関するガイドライン
(海外において最近改訂・作成され、HPV検査の評価を行っている主なもの)

ガイドライン等の名称	公表年	作成場所	種別
Population screening for cervical cancer. The Hague: Health Council of the Netherlands, 2011; publication no. 2011/07E.	2011	オランダ Health Council	ガイドライン
Screening for Cervical Cancer. U. S. Preventive Services Task Force Recommendation Statement (March 2012) Ann Intern Med. 2012 Mar 14	2012	米国USPSTF	ガイドライン
American Cancer Society, American Society for Colposcopy and Cervical Pathology, and American Society for Clinical Pathology Screening Guidelines for the Prevention and Early Detection of Cervical Cancer (2012)	2012	米国ACS (がん協会)	ガイドライン

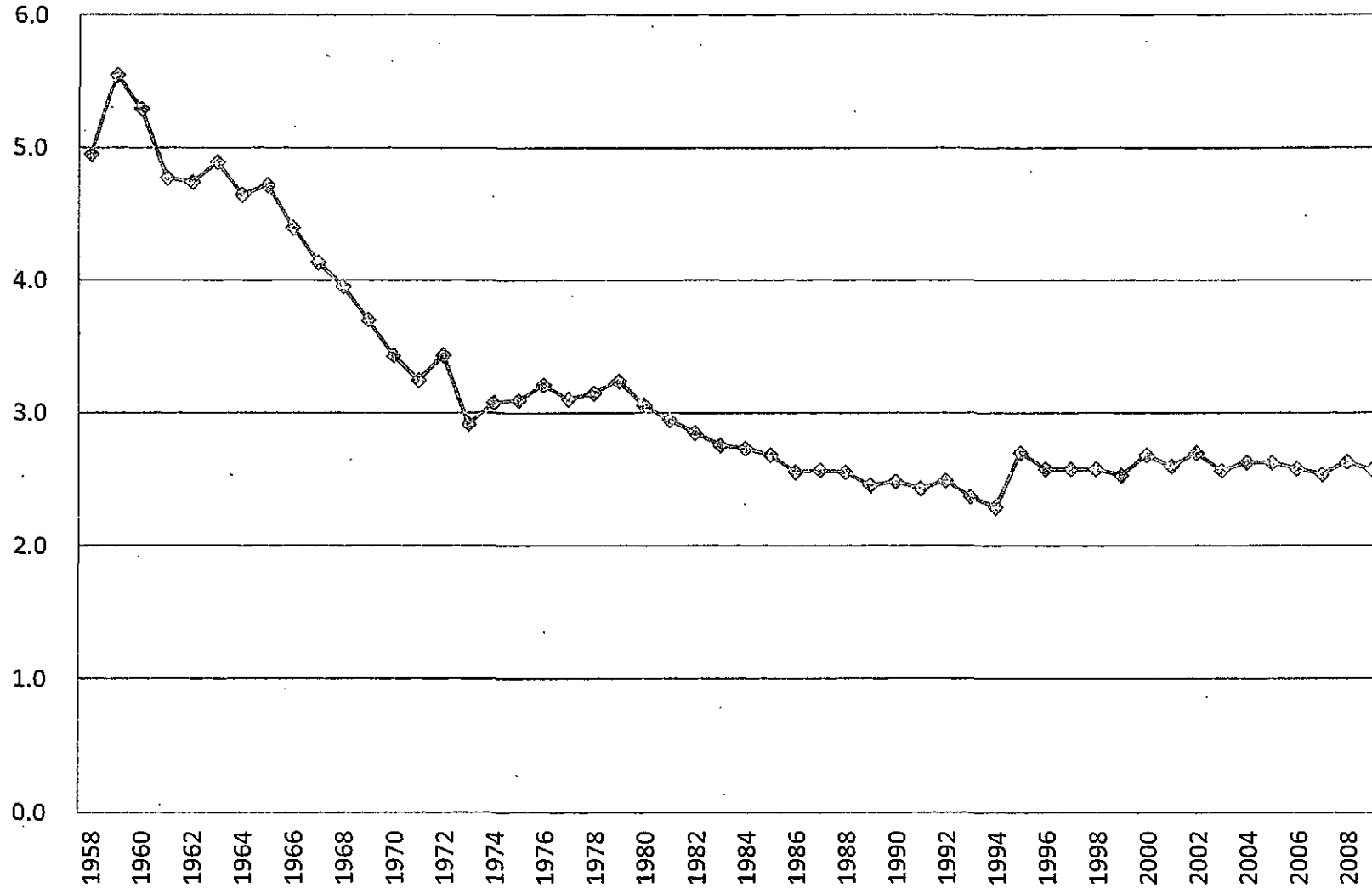
子宮頸がん死亡者数



出典: 国立がん研究センターがん対策情報センター がん情報サービス/人口動態統計

対人口10万人

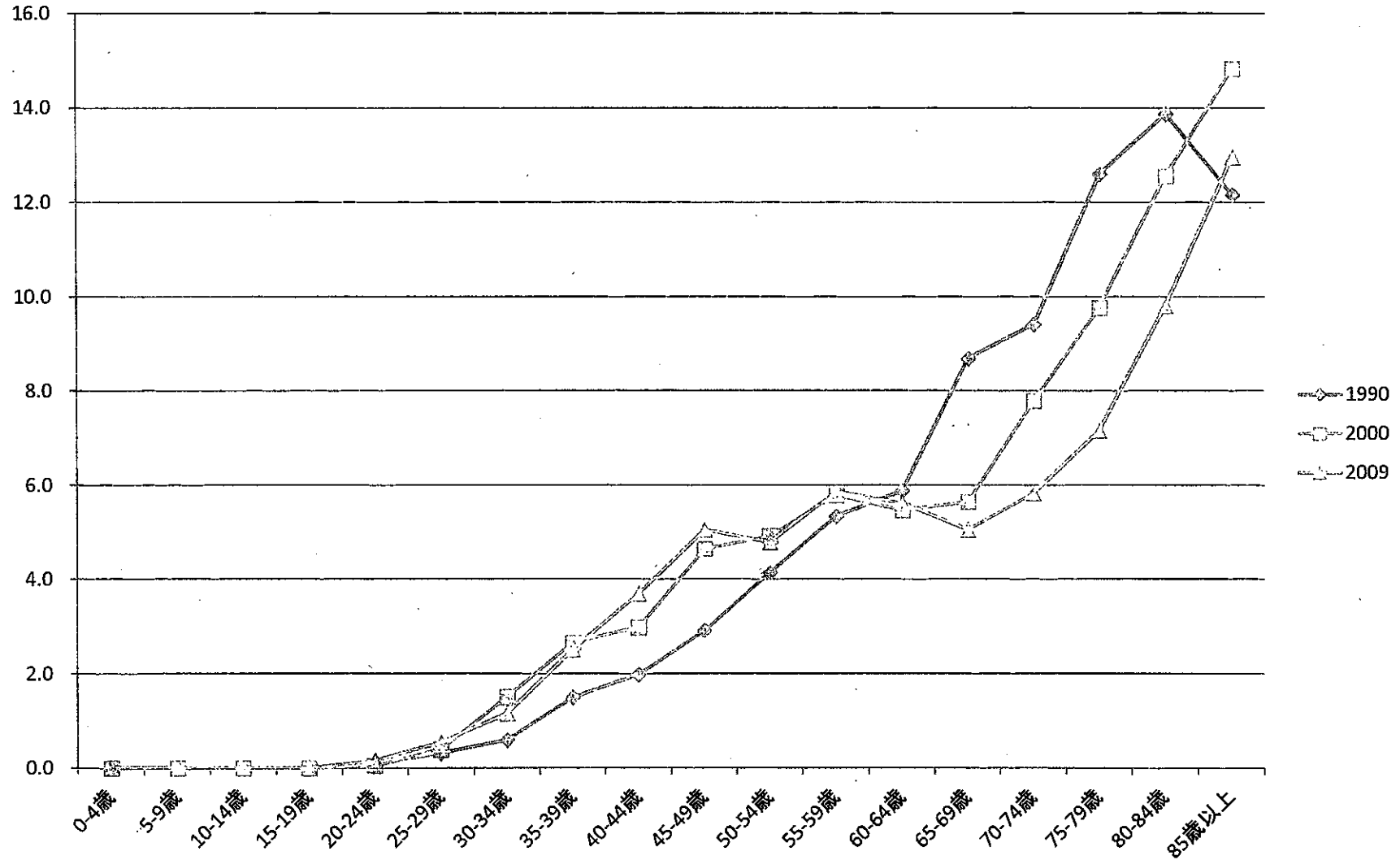
子宮頸がん年齢調整死亡率



出典: 国立がん研究センターがん対策情報センター がん情報サービス/人口動態統計

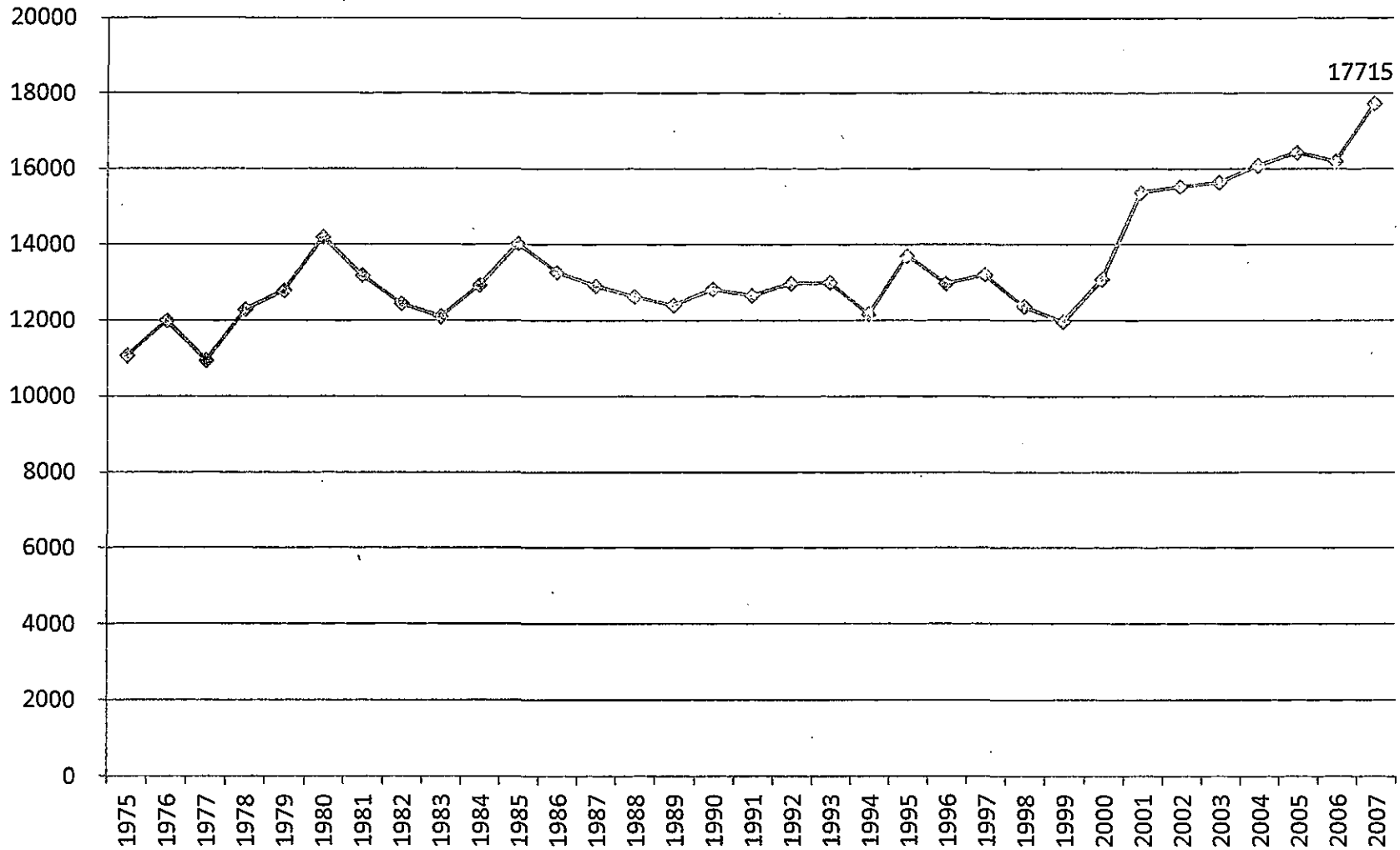
子宮頸がん年齢階級別死亡率

対人口10万人



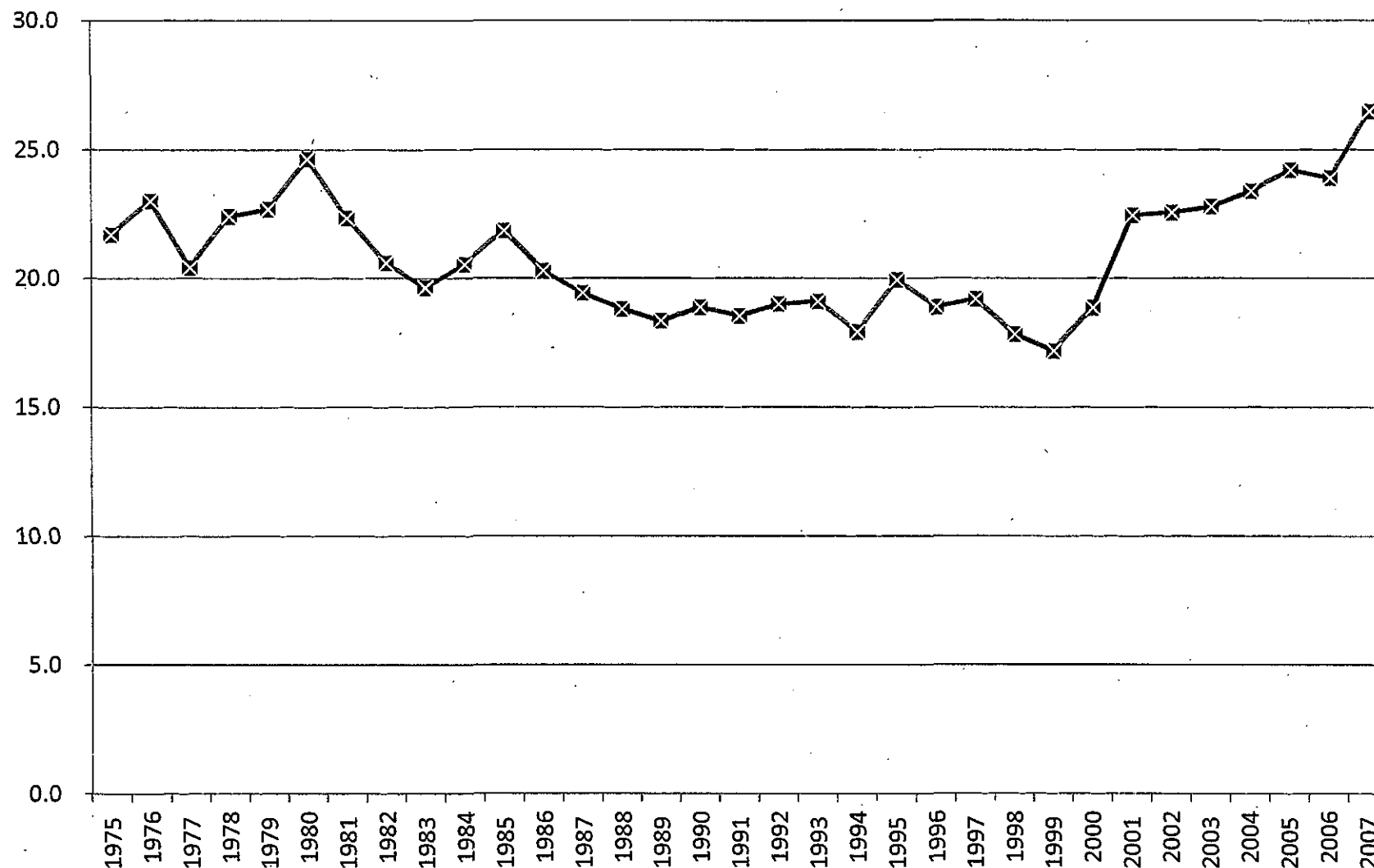
出典：国立がん研究センターがん対策情報センター がん情報サービス/人口動態統計

子宮頸がん(上皮内がん含む)罹患患者数



出典:国立がん研究センター がん対策情報センターがん情報サービス/全国がん罹患モニタリング集計

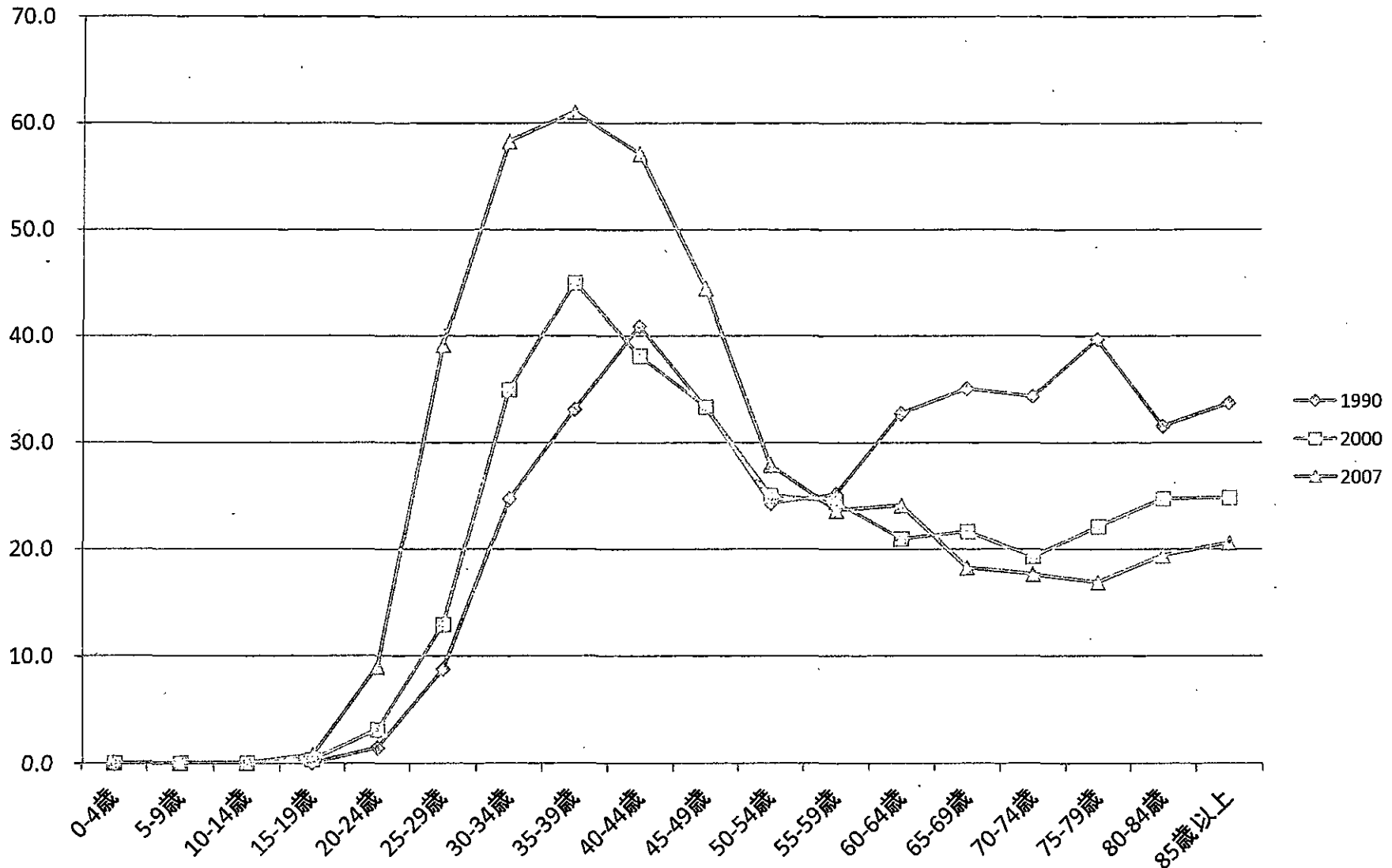
子宮頸がん（上皮内がん含む） 年齢調整罹患率



出典：国立がん研究センター がん対策情報センターがん情報サービス/全国がん罹患モニタリング集計

子宮頸がん(上皮内がん含む) 年齢階級別罹患率

対人口10万人



出典: 国立がん研究センター がん対策情報センターがん情報サービス/全国がん罹患モニタリング集計

